

# 農作物技術情報 第6号 水稻

発行日 平成30年 8月30日  
 発行 岩手県、岩手県農作物気象災害防止対策本部  
 編集 中央農業改良普及センター 県域普及グループ (電話 0197-68-4436)

携帯電話用 QR コード



「いわてアグリベンチャーネット」からご覧になれます  
 パソコン、携帯電話から「<http://i-agri.net/Index/gate002>」

刈取り始めの目安となる日（出穂後、日平均気温の積算温度が950℃に到達する日）は、北上川流域の平野部は平年並からやや早く、北部や東部では平年並からやや遅い、と予想されます。※8/20現在

水稻を良く観察して適期に刈取りましょう。収穫時期は日没が早まりますので、余裕のある作業計画で、適期に収穫しましょう。

- コンバインや乾燥調製施設の点検、整備は早めに行いましょう。
- 品質低下を防止するため、完全落水は出穂後30～35日後としましょう。
- 刈取り適期の判定は、黄化割合で80～90%を目安に適期に収穫しましょう。
- 籾の乾燥は二段乾燥を心がけ、玄米水分15%以下に仕上げましょう。
- 次年度、品種の切り替えを予定している場合は、今秋からの異品種混入（コンタミ）対策を徹底しましょう。

## 1 生育状況

県全体の出穂期（盛期）は、8月3日（平年差-3日）でした。しかし、8月は高温と低温の時期が繰り返され、低温の時期が長かった東部・北部では出穂の終期が平年よりもやや遅れました。（表1）

表1 水稻の地帯別出穂時期 (各農業改良普及センター調べ)

地帯名	出穂時期 (月/日)								
	本年 (月/日)			平 年			平年差 (日)		
	始期	盛期	終期	始期	盛期	終期	始期	盛期	終期
北上川上流	7/30	8/4	8/8	8/2	8/6	8/11	-3	-2	-3
北上川下流	7/31	8/3	8/9	8/2	8/6	8/10	-2	-3	-1
東 部	8/2	8/7	8/12	8/3	8/7	8/11	-1	0	1
北 部	8/1	8/5	8/12	8/4	8/7	8/11	-3	-2	1
県 全 体	7/31	8/3	8/9	8/3	8/6	8/10	-3	-3	-1

注1：平年値は平成20年～29年の10か年平均値

注2：始期、盛期、終期は各々地帯で概ね10%、50%、90%の水田で出穂した日

## 2 気象経過

8月は、第2半旬と第4半旬に気温が平年を下回り、特に第2半旬の低温が強く、北部および東部ほど大きく下回りました（図1）。一方、第3半旬および第5半旬は異常気象早期警戒情報が発表され、極端な高温で経過しました。東北地方の1ヶ月予報（仙台管区気象台8月23日発表）では、平均気温は平年並か高く、降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込みです。

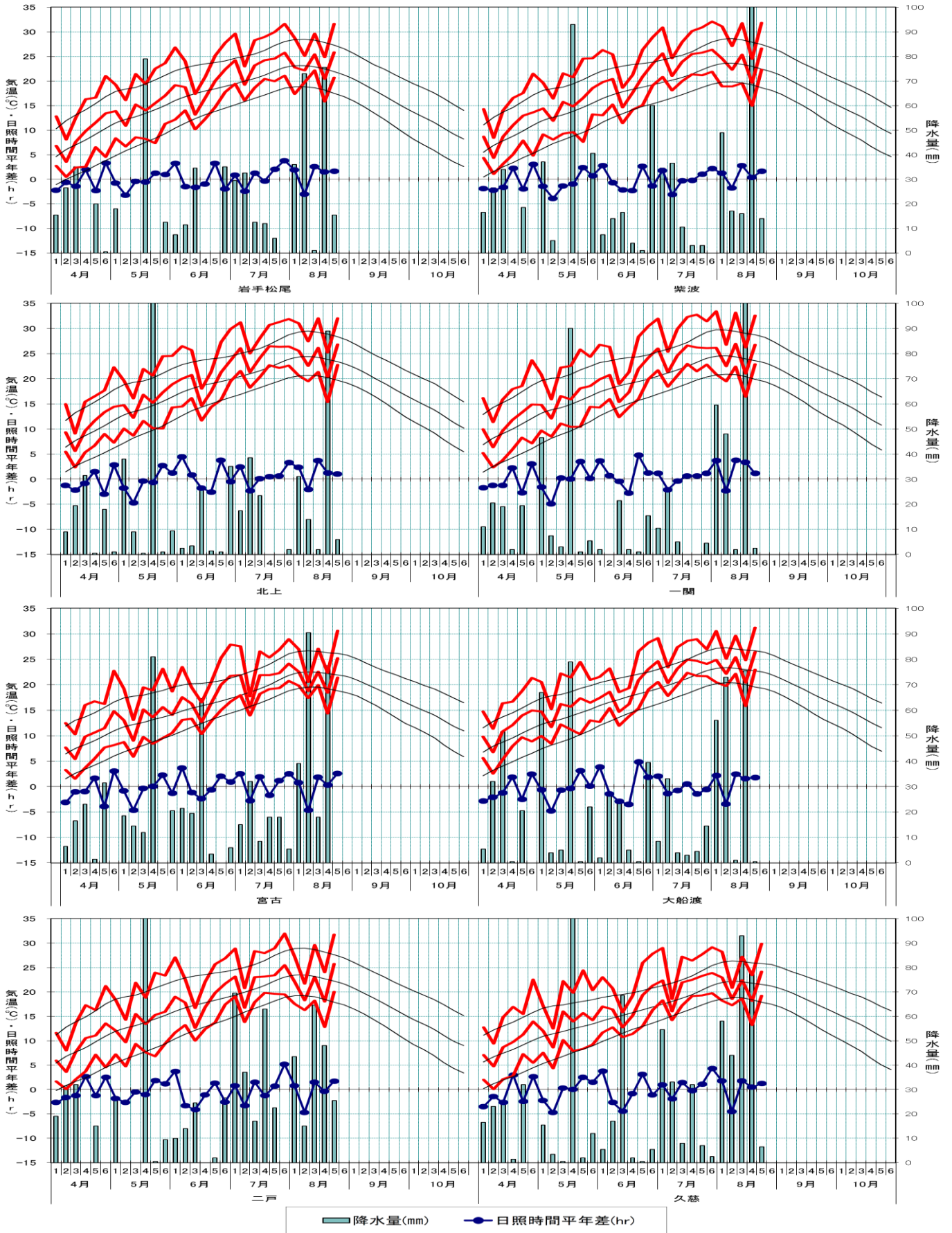


図1 半旬別気象経過図(4月第1半旬~8月第5半旬)  
 (1段目:北上川上流域、2段目:北上川下流域、3段目:東部、4段目:北部)

### 3 玄米品質を低下させない水管理

#### (1) 登熟期の水管理

落水が早すぎると収量や品質の低下につながります。排水が悪く地下水位が高い水田では、出穂30～35日頃、排水のよい水田では出穂35～40日頃を目安に落水しましょう。

#### (2) 台風や大雨時の水管理

台風、大雨等で浸水や冠水の恐れがあるときは、水尻を開けて排水を促します。浸水や冠水した場合には、速やかに排水するように努めてください。特に、長時間冠水すると登熟に影響しますので、少しでも早く排水して水稻の葉先を出すことが重要となります。

台風通過後は、稲体が水分を失いやすい状態にあるため、田面を急激に干さないよう間断灌がいしましょう。

### 4 適期刈取りの励行

本年の出穂期（盛期）は平年より3日早い8月3日でしたが、8月の低温の影響により、地域差が生じることが予想されます。北上川流域の平野部では平年並～やや早く、北部や東部では平年並～やや遅い刈取り時期になることが予想されますので、稲穂を良く観察して刈取作業を進めましょう。

(図2、表3)

また新米の安全性を確認するための放射性物質調査を全県で実施します。カントリーエレベータ、ライスセンターをご利用の方は施設の稼働時期を確認のうえ刈取り計画をたてましょう。

#### (1) 刈取り適期の予測

刈取り適期は出穂期からの日平均気温の積算による方法で予測します。品種ごとに刈取り適期の目安となる積算気温が定められています(表2)。

表2 主要品種の積算気温による刈取り適期の目安

品種名	刈取適期の積算気温(°C)
ひとめぼれ	900～1050
ササニシキ	1000～1150
金色の風、銀河のしずく、どんぴしゃり、いわてっこ、かけはし	950～1050
あきたこまち	950～1100
ヒメノモチ、もち美人	950～1050

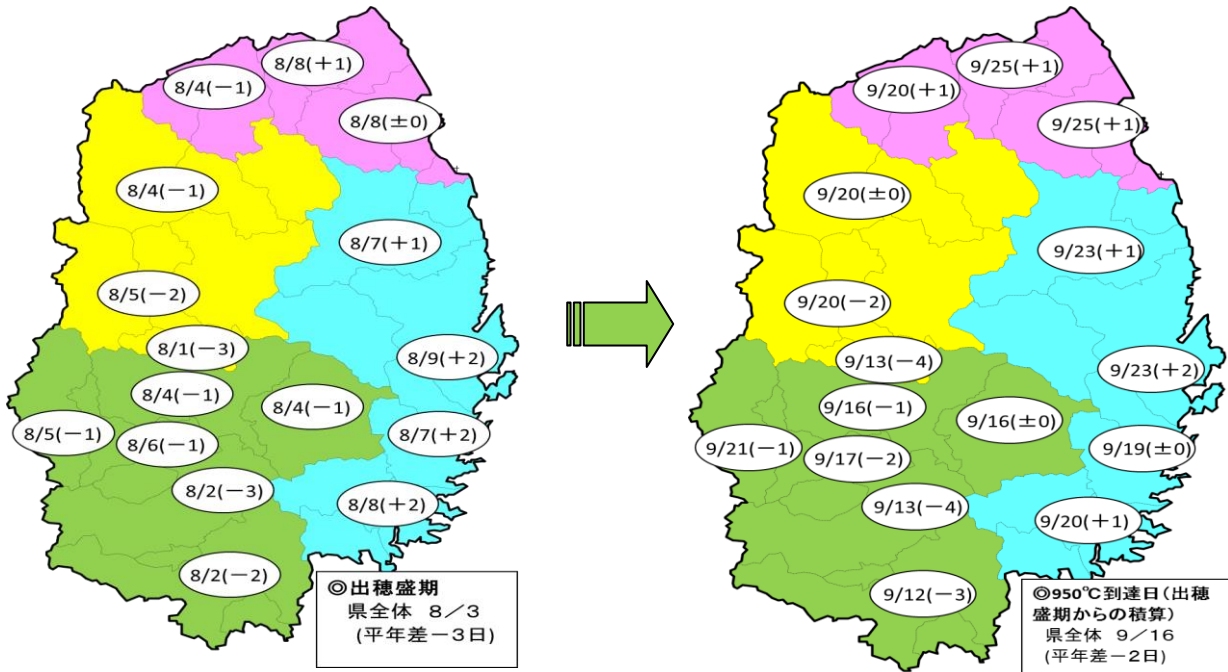


図2 各地域の出穂盛期から日平均積算気温950°C到達日(予測)

※ 各地域の代表アメダス地点の日平均気温の積算(8/25までは実測値、以降は平年値を使用)  
○枠内の数字は、出穂日または到達日、その横のカッコ内数字は平年差(単位:日)を示す。  
プラス表記は平年より遅い、マイナス表記は平年より早いことを示す。

表3 各地域の出穂期と日平均積算気温950℃到達日の予測

農業地域	出穂期						刈り取り始めの目安(※8/25まで現況値)						使用アメダス地点
	本年			平年差			日平均気温積算温度950℃到達日(月/日)						
							本年			平年差			
	始期	盛期	終期	始期	盛期	終期	始期	盛期	終期	始期	盛期	終期	
花巻	8/2	8/4	8/7	-1	-1	-2	9/13	9/16	9/19	-1	-1	-3	花巻
北上	8/3	8/6	8/9	-1	-1	-3	9/14	9/17	9/21	-1	-2	-5	北上
遠野	7/31	8/4	8/14	-2	-1	4	9/10	9/16	9/29	-3	0	6	遠野
西和賀	8/1	8/5	8/8	-2	-1	-2	9/16	9/21	9/25	-2	-1	-3	湯田
盛岡	7/31	8/5	8/9	-3	-2	-3	9/14	9/20	9/25	-3	-2	-5	雫石
紫波	7/28	8/1	8/6	-3	-3	-4	9/7	9/13	9/19	-5	-4	-7	紫波
八幡平	7/30	8/4	8/9	-2	-1	0	9/13	9/20	9/26	-2	0	0	岩手松尾
奥州	7/29	8/2	8/8	-3	-3	-1	9/7	9/13	9/20	-5	-4	-2	江刺
一関	7/30	8/2	8/10	-3	-2	2	9/8	9/12	9/22	-4	-3	2	一関
大船渡	8/3	8/8	8/14	1	2	3	9/15	9/20	9/29	1	1	4	大船渡
釜石	8/2	8/7	8/11	-1	1	2	9/14	9/19	9/24	-1	0	1	釜石
宮古	8/3	8/9	8/13	0	2	2	9/16	9/23	9/29	0	2	3	宮古
岩泉	8/2	8/7	8/12	-1	1	2	9/17	9/23	9/30	-1	1	3	岩泉
久慈	8/3	8/8	8/17	-1	0	6	9/19	9/25	10/7	0	1	9	久慈
二戸	8/1	8/4	8/10	-1	-1	1	9/16	9/20	9/27	1	1	2	二戸
軽米	8/3	8/8	8/13	-1	1	2	9/20	9/25	10/3	0	1	3	軽米
北上川上流	7/30	8/4	8/8	-3	-2	-3	9/12	9/18	9/24	-3	-2	-3	
北上川下流	7/31	8/3	8/9	-2	-3	-1	9/10	9/15	9/21	-3	-2	-1	
東 部	8/2	8/7	8/12	-1	0	1	9/15	9/21	9/27	0	1	2	
北 部	8/1	8/5	8/12	-3	-2	1	9/18	9/23	10/1	0	1	3	
県 全 体	7/31	8/3	8/9	-3	-3	-1	9/11	9/16	9/22	-3	-2	-2	

注1：各地域の代表アメダス地点の日平均気温について、8月25日までは実測値、以降は平年値を使用して積算気温950℃到達日を予測した。

注2：出穂始期：10%出穂した日、出穂盛期：50%出穂した日、出穂終期：90%出穂した日

注3：平年は、平成20年～平成29年の10か年平均値である。

## (2) 刈取り適期の判断

登熟積算気温が950℃に近づいたら、次の手順で判断してください。

### ア. 黄化籾割合のチェック

黄化籾割合80～90%とは、1穂の籾の80～90%の籾が黄色になり、穂の基部の籾が10%程度緑色が残っている頃です。

### イ. テスト籾すりによるチェック

黄化籾割合が80～90%に達したら、試験的に数穂を籾すりしてみましょう。

積算気温による刈取り適期の判断は、栽培法や日照時間によりズレが生じる場合がありますので、実際の登熟状態を確認してください。



図3 籾の黄化割合と刈取り適期判断の目安

### (3) 収穫作業の留意点

#### ア. 籾水分の確認

コンバイン収穫では、作業開始前に水分計で籾の水分状態が20～25%にあることを確認します。また、コンバイン収穫した生籾は放置せず、速やかに乾燥調製施設へ搬入しましょう。

#### イ. 水田内で出穂のばらつきが大きい場合

1枚の圃場内で出穂のばらつきが見られ、水口などで登熟が大幅に遅れているような場所は、刈分けして品質低下を避けてください。

#### ウ. 倒伏した場合

台風や大雨等により倒伏した場合は刈分けを行い、土が付着した籾や青未熟粒等の混入を避けてください。

### 5 乾燥・調製の留意点

仕上げ水分は15.0%以下を徹底！！

#### (1) 胴割れ粒の発生防止

火力乾燥においては、1時間あたりの水分減少率（毎時乾減率）を0.8%以下とします。これ以上乾燥速度を上げると胴割れ粒が発生しますので、急激な乾燥を避け、また過乾燥にならないよう注意が必要です。

4%以上の水分差がある籾を一緒に張り込むことは避けます。また、籾水分18%の時に一旦乾燥機を止めて放冷・循環常温通風し、その後仕上げ乾燥して籾水分の均質化を図ります（二段乾燥）。自然乾燥においては、掛け替え等で乾燥促進に努め、乾燥期間は2週間以内としてください。

#### (2) 籾すり時の肌ずれ、脱ぶの防止

玄米水分15.0%以下の適正水分で籾すりを行います。（肌ずれ米の防止）

ゴムロールのすき間は、籾の厚さの約1/2（0.5～1.2mm）が標準です。

脱ぶ率は条件により変化するので、85%程度になるようロール間隔を調整します。

#### (3) ライスグレーダー

出荷製品用は、LL（1.9mm）の篩い目使用を基本とし、整粒歩合80%以上を目指しましょう。

### 6 異品種混入の防止

産地から出荷する米穀は「表示銘柄以外の混入のない米」であることが必須です。

異品種混入（コンタミ）が発生すると、品種名の表示ができなくなることに加え、産地全体のイメージダウンとなります。機械や施設の点検・清掃を徹底しましょう。

コンバイン、運搬機、乾燥機や籾摺機など収穫・乾燥・調製機械や施設内には、前年の籾等が残留している可能性がありますので、これらの機械や施設の点検・清掃を十分に行い、異品種混入を未然に防止しましょう。

### 7 農作業安全

収穫時期は日没が早まり、例年農作業事故の発生が多くなります。余裕をもった作業計画を作成し、農作業安全に努めましょう。また、作業機に反射シールを貼るなどして交通事故を防止しましょう。

### 8 直播栽培（鉄コーティング種子による湛水表面播種栽培）の適期刈取り

直播栽培は、移植栽培に比べて出穂期や成熟期などの生育ステージが10日～2週間程度遅くなります。今年はその差が例年よりも大きくなることが予想されます。実際に稲穂をよく観察して適期に収穫しましょう。

倒伏した場合は刈分けを行い、土が付着した籾や青未熟粒等の混入を避けましょう。

次号は9月27日（木）発行の予定です。気象や作物の生育状況により号外を発行することがあります。

中央農業改良普及センター県域普及グループは、地域農業改良普及センターを通じて農業者に対する支援活動を展開しています。